

Ⅸ 防災・安全対策

○本校では、学校経営計画の目指す学校像を実現するために、「安全・安心な学習環境の整備及び地域と連携した防災対策等の強化」を主な取り組みとしています。

学校が安全・安心な場所となるためには、実際を想定した訓練や宿泊防災等、防災意識及び対応力を向上させるなど、防災・安全対策は欠かせません。校内の組織的な対応だけでなく、地域との連携を図りながらより安心・安全な学校を進めていきます。

1 災害時の対応について

災害発生時等、町田市センター校として、役割を果たすために以下の役割を担っています。

(1) 町田市との協定に基づく避難所等の運営について

- ・町田市と「障害者を対象にした避難所施設利用に関する協定」を結んでおり、障害者を対象にした2次避難所として指定されています。このため、一時滞在施設の指定ではありません。

※令和6年度以降の校舎改築完成後からの実施となります。

(2) 学校の災害時帰宅支援ステーションとしての役割について

- ・島しょを除く都立学校は、帰宅支援ステーションとして指定されています。震災時に徒歩帰宅者に対し、水、トイレ、沿道の情報等を提供します。（本校では、水、発電機その他、毛布も備蓄しています。）

(3) 災害時の地域住民との連携体制について

- ・防災教育推進委員会には、地域代表者の方も委員として加わっております。地域と学校の強みを生かし、協力体制を構築していきます。

2 日常の防災の取組について

日常の取組としては、避難の妨げにならないよう環境整備に努めています。また、より臨場感ある避難訓練を体験することが何よりも大切なため、毎月実施する避難訓練には、以下のとおり様々な工夫をしています。

(1) 避難訓練

ア 緊急地震速報の活用

- ・児童・生徒が自ら安全な行動を取れるよう、緊急地震速報を使用しています。この警報音が鳴ってから、1学期は15秒後に地震が来ると設定し、児童・生徒はその間にどのように自ら安全を確保するか、教員は安全確保のため、どのような動きをとることができるかが訓練できます。2学期以降は施設一部倒壊での通行禁止エリアの設定や負傷者運搬訓練等も実施予定です。

イ 開始時刻を伝えない

- ・突然地震が起きたとき、どこにいても自ら安全を確保したり、落ち着いた行動をしたりすることができるように、計画的に行います。

ウ 消防署との連携

- ・起震車体験、消火器訓練、煙ハウス体験等、様々な場面で消防署との協力を仰ぎ、児童・生徒の避難の様子も見てもらうことで、緊張感がある訓練になります。また助言をいただくことができるので、改善にもつながります。

エ 避難経路を指定する。

・本校における地震の避難訓練では、避難経路の確認をしてから避難を開始しています。

避難ができない経路を設定し、校内放送を落ち着いて聞くことも大切なことです。校内放送では、避難可能な経路のみを伝えています。

(2) 防災訓練

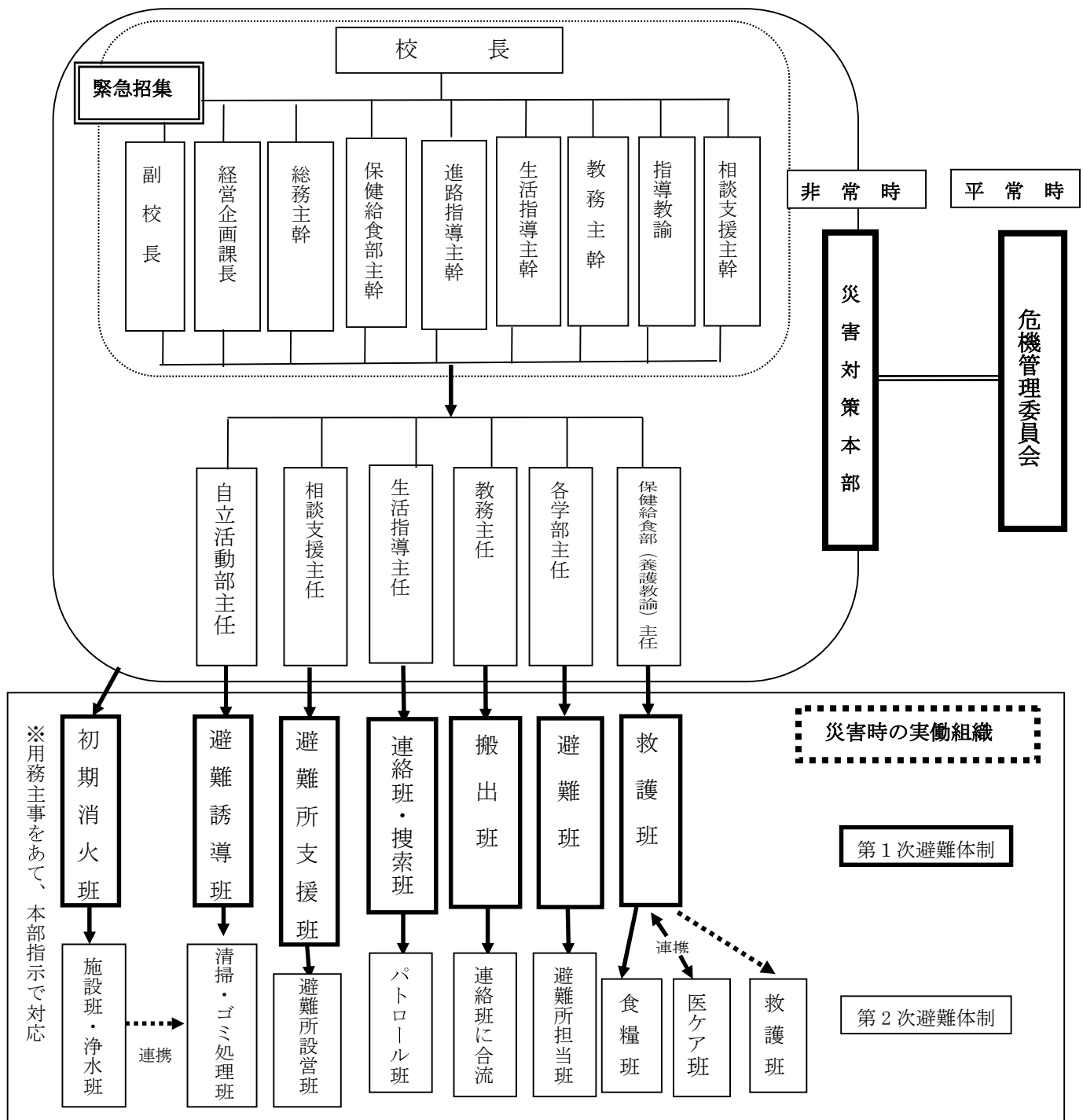
○6月に、児童・生徒には避難訓練及び引取訓練や宿泊防災訓練を実施しています。

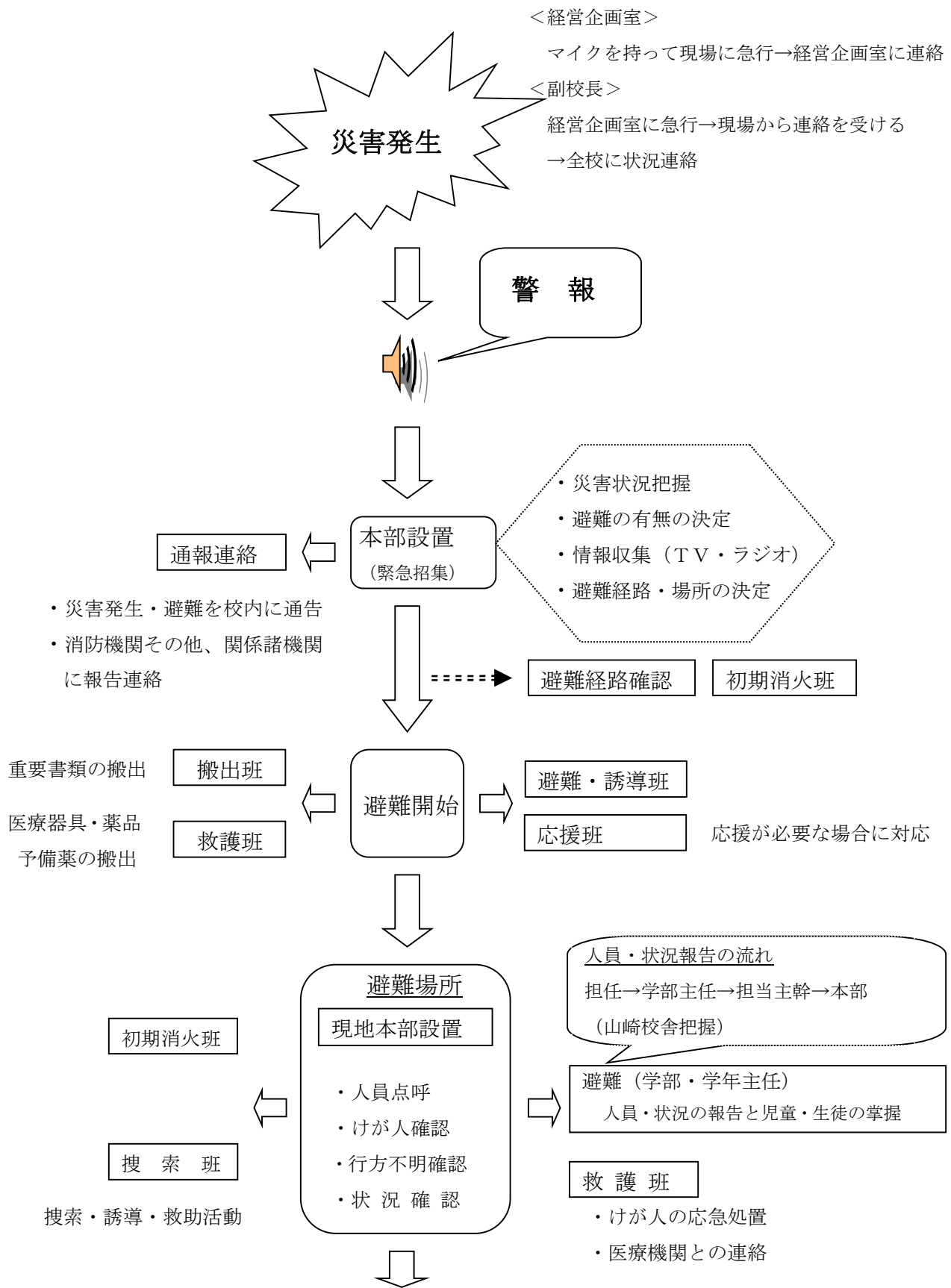
また、教職員には「危機管理マニュアル」に沿った、教員の役割（自衛消防体制①・②）の確認を行います。

3 その他

防災組織と行動内容

○本校組織図及び緊急時の体制





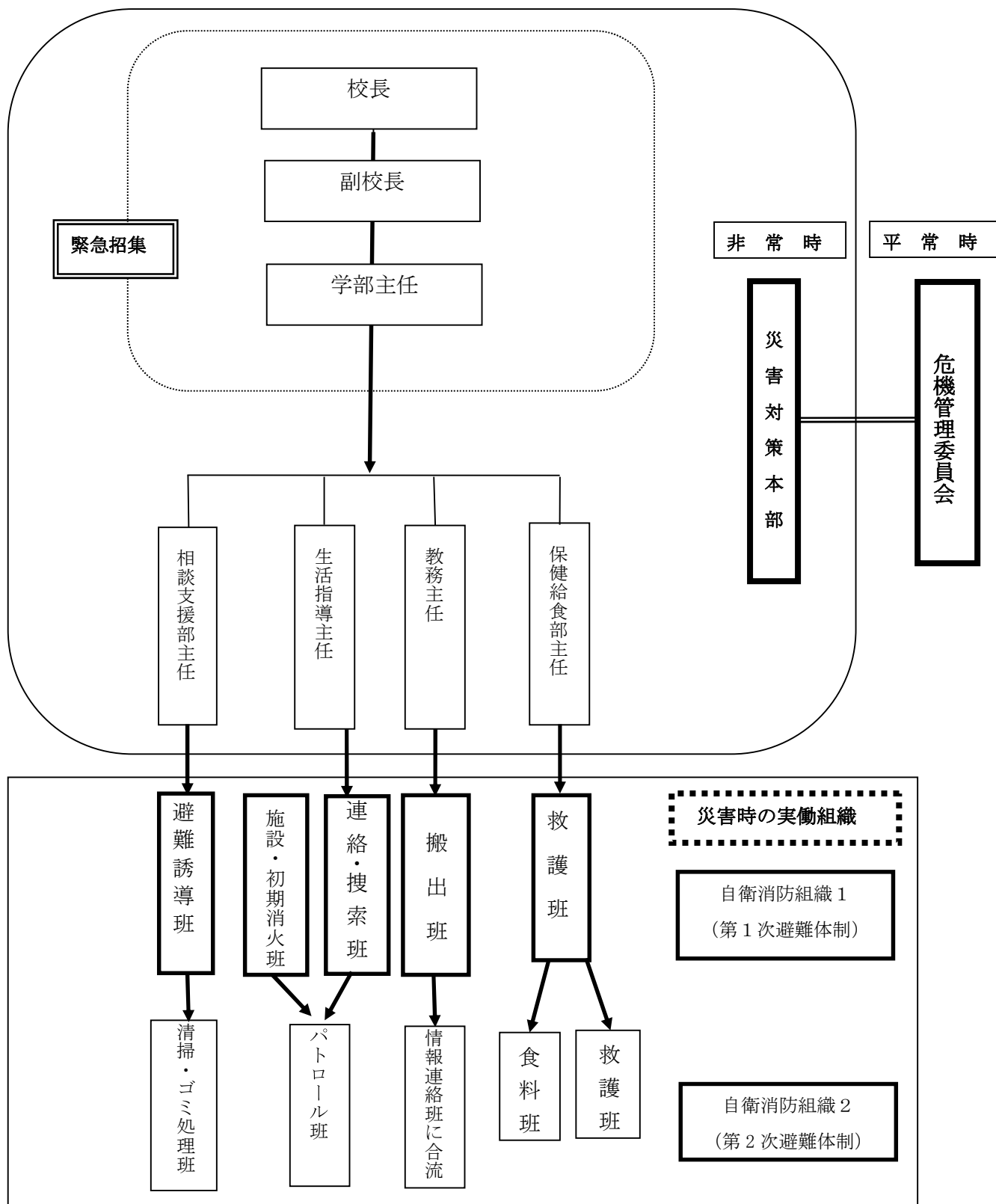
避難後の体制

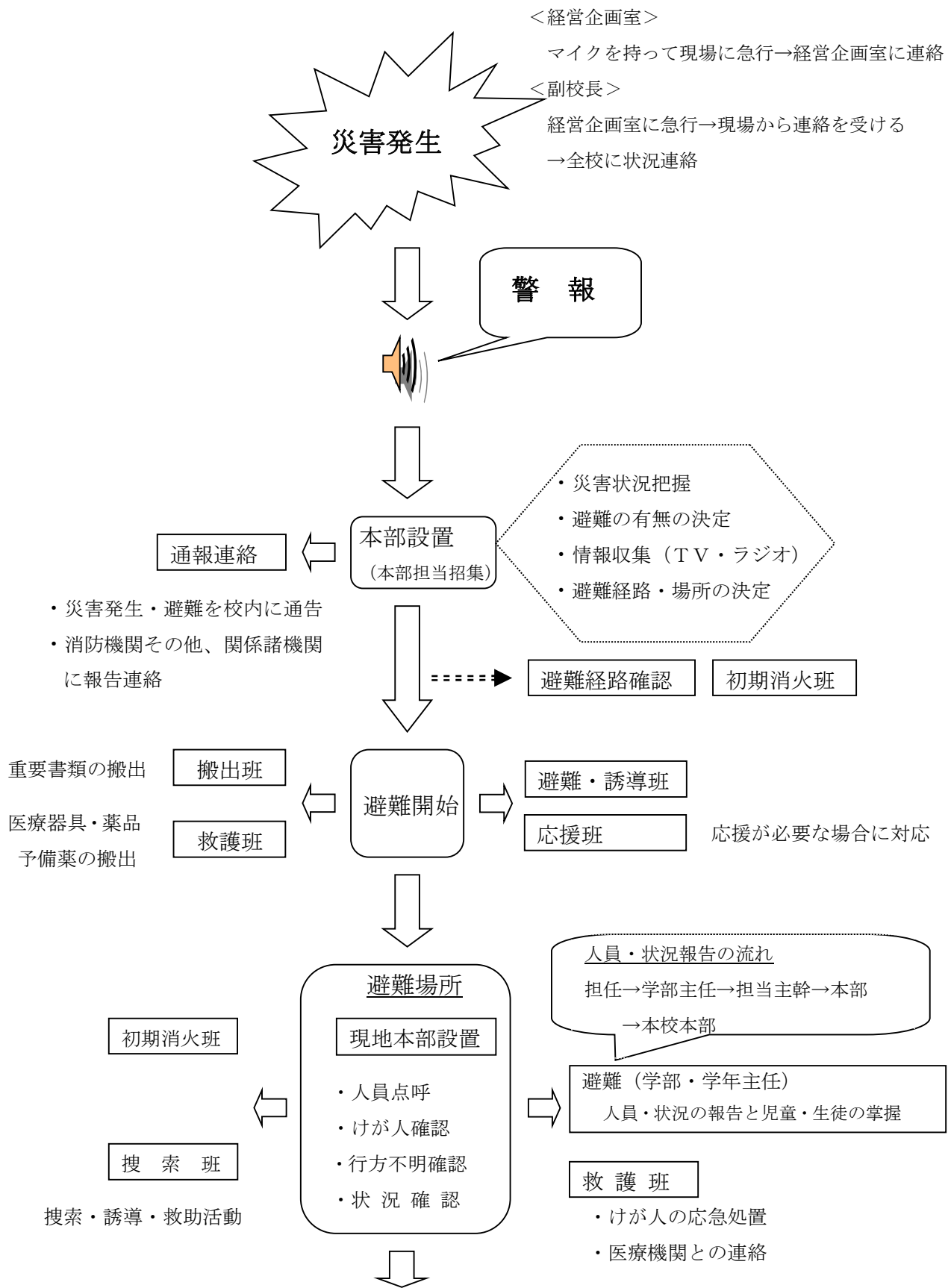
(自衛消防組織2)

* 避難場所 野津田公園 (スクールバス駐車場)

防災組織と行動内容

○山崎校舎組織図及び緊急時の体制





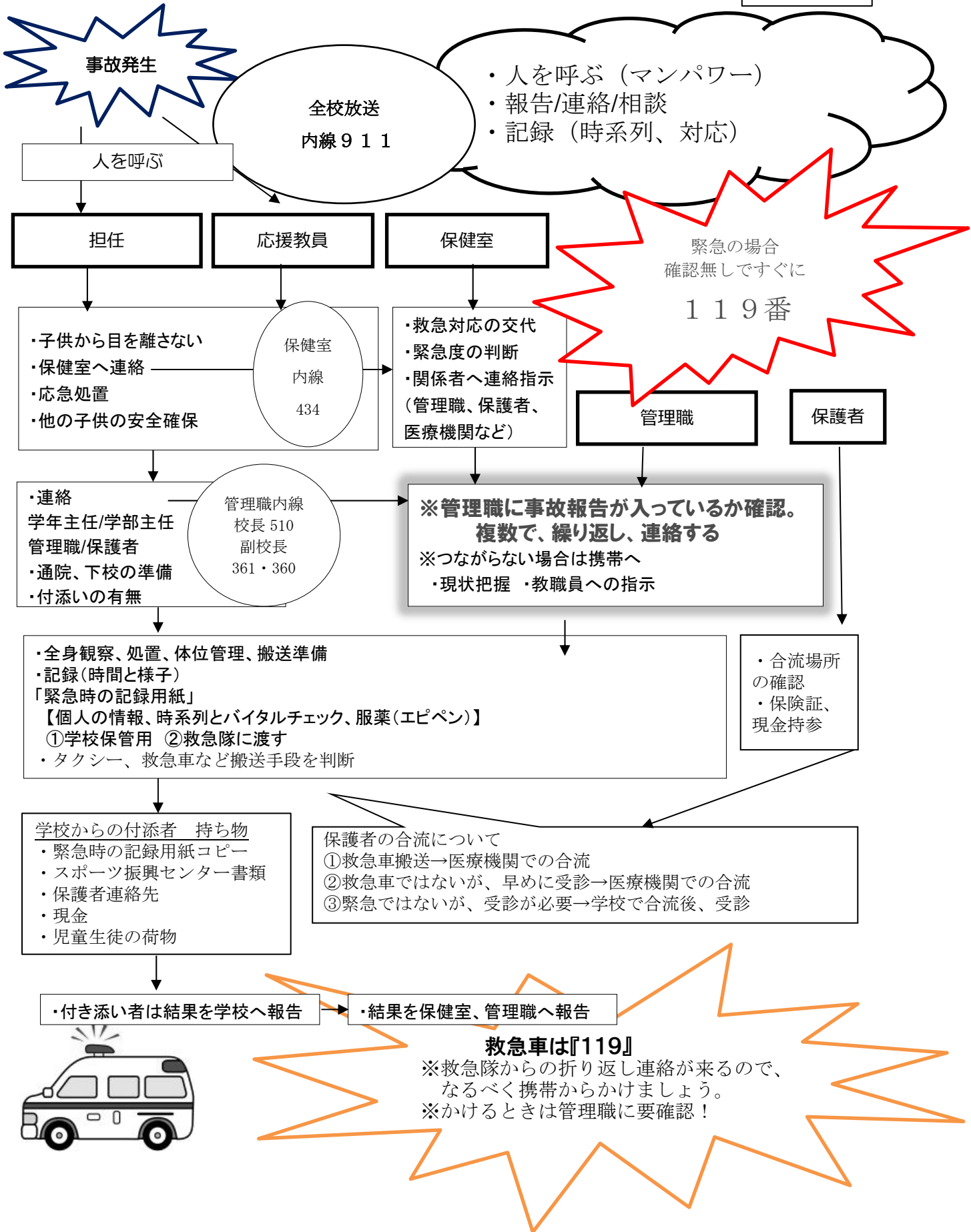
避難後の体制

(自衛消防組織2)

* 避難場所 グラウンド、スクールバス駐車場

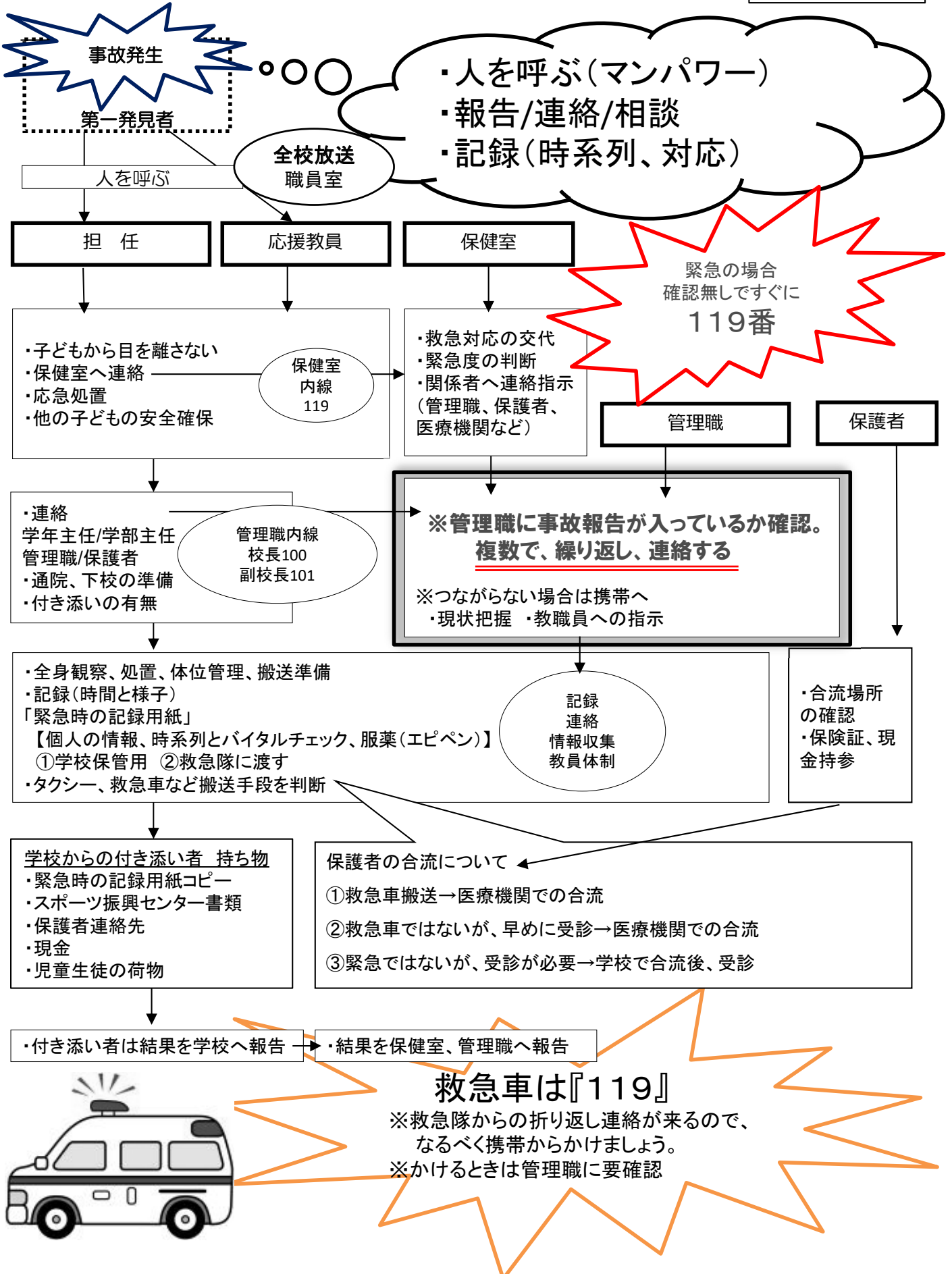
I 緊急時の対応フローチャート（掲示期間：通年）

本校舎



緊急時の対応フローチャート（掲示期間 通年）

山崎校舎



X 予算概要

1 本校における予算概要

(単位;千円)

区 分	令和5年度 (予 算)	令和4年度 (決 算)	摘 要
事業費	393,897	466,144	
管理運営に関わる経費 (うち自律経営推進予算)	315,789 (29,163)	387,039 (26,160)	
内 教職員関係費	9,243	26,160	教職員旅費等
内 管理運営費	277,831	322,860	共済費、スクールバス等
内 維持補修費	28,715	38,019	建物維持管理(光熱水費・ 保守委託・ごみ処理等)
教育指導研修に関わる経費	285	934	指導研修費、地域理解等
開放事業に関わる経費	64	258	公開講座、施設開放事業
保健給食に関わる経費	77,759	77,913	保健及び給食関係費
計	393,897	466,144	
歳入(特定財源)			
使用料及び手数料	187	181	授業料・入学考査料・土地使 用料・証明書交付等
財産収入	400	238	生産品売り払い
諸 収 入	80	1,365	光熱水費・雑入等
計	667	1,784	
差引一般財源	394,564	464,360	

※ 令和5年度(当年度)予算は、当初見込額である。

※ 令和4年度(前年度)決算は、5年4月末現在の見込額である。

(単位;千円)

令和3年職員費	1,534,947
---------	-----------

※ 上記の職員費は、令和3年度における常勤教職員、再雇用職員、非常勤講師の人件費であり、事業主負担分を除く。

XI 施設・設備概要

1 施設の概要

本校舎

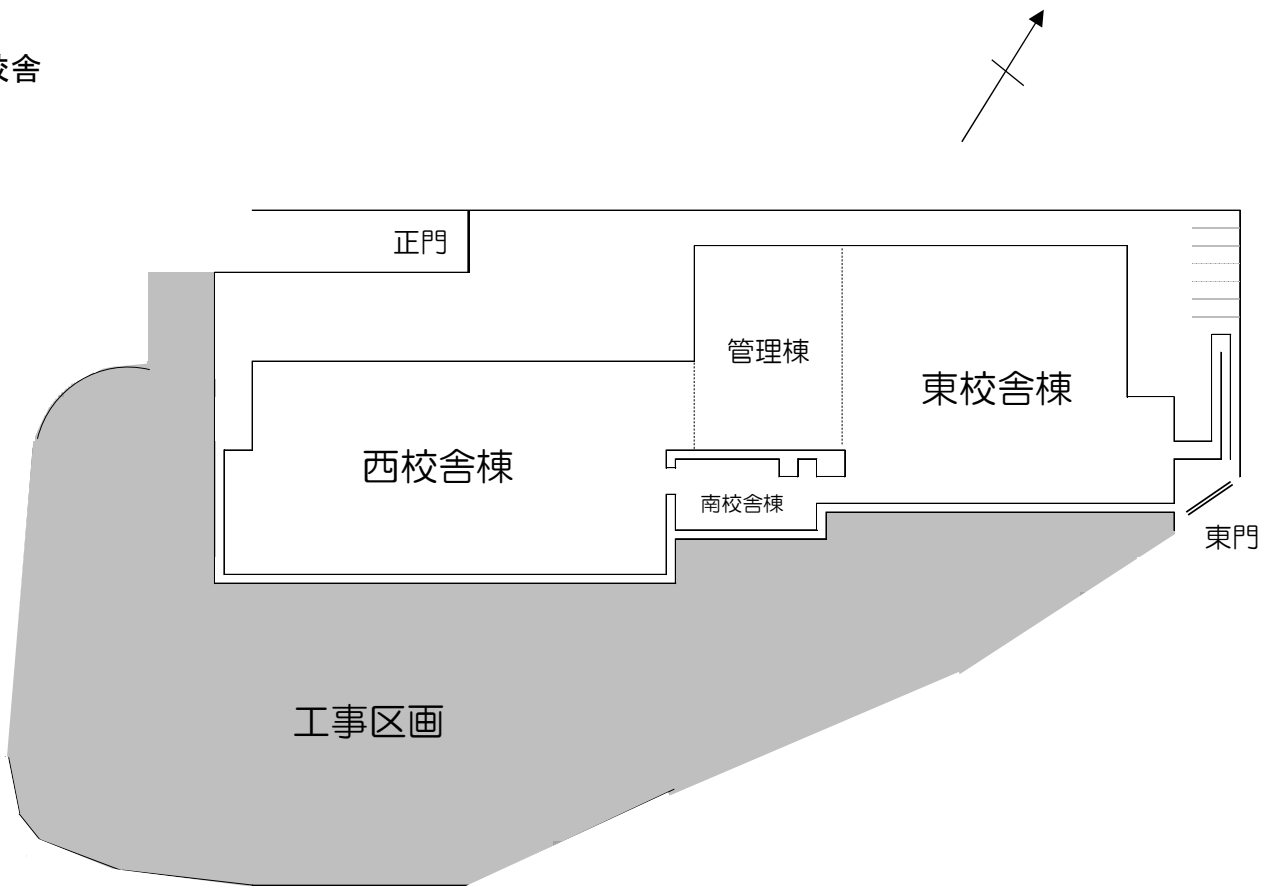
校舎延床面積	16892.88 m ²
校地面積	19519.86 m ²
プール	250 m ²
普通教室	長尺シート、空調・給湯設備付
廊下	長尺シート、フローリング
スロープ	屋内スロープ1か所、屋外スロープ1か所
エレベータ	29人乗（車イス3台）2基
グラウンド	令和6年度完成（予定）

山崎校舎

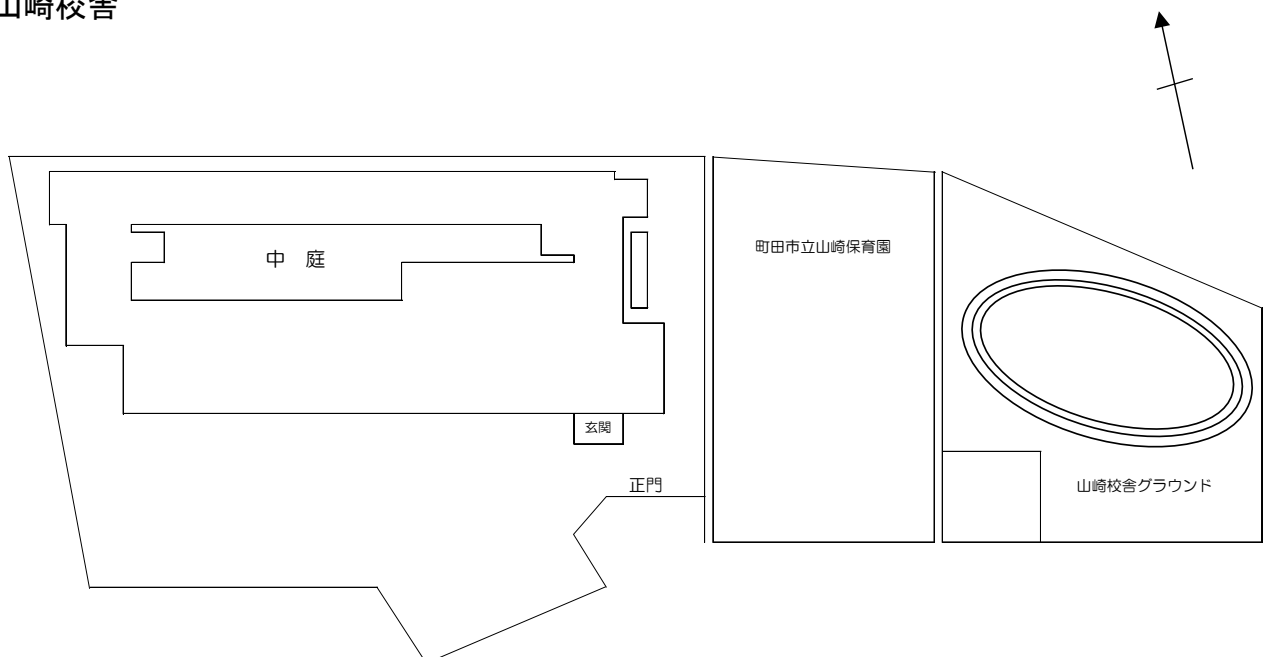
校舎延床面積	5,940.34 m ²
校地面積	8,256.34 m ²
普通教室	発泡層付塩ビシート、空調・給湯設備付
プレイルーム	279.37 m ²
廊下	長尺塩ビシート
スロープ	屋外スロープ1か所
エレベータ	1基
第二グラウンド	2,208 m ² 、全面クレイ舗装
第二グラウンド駐車場	491 m ² 、全面アスファルト舗装

2 平面図

本校舎



山崎校舎



<アクセス>

本校

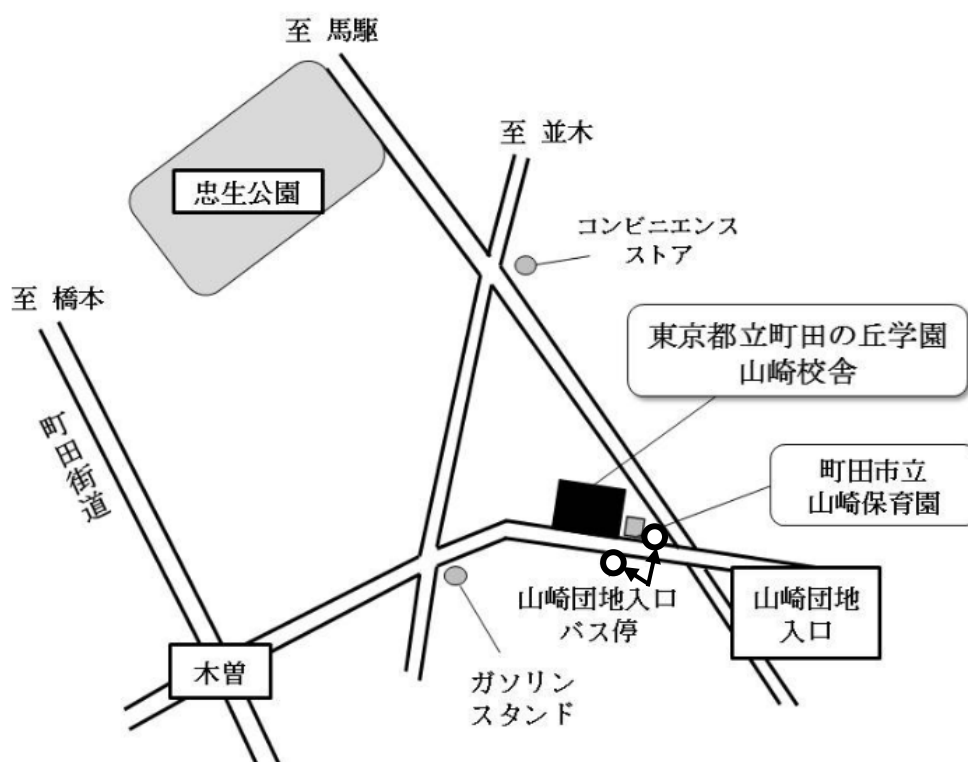


大型・小型に関わらず、
こちらの道を御使用ください。

【本校への交通案内】

- ① 小田急線鶴川駅下車 5番バス停 33系統 野津田車庫行又は淵野辺行
(所要時間 15分) 野津田車庫下車徒歩 12分
- ② 小田急線・JR横浜線町田駅下車
西口バスセンター 14番バス停 26系統 野津田車庫行図師経由
(所要時間 35分) 神学校下車徒歩 18分
- ③ 小田急線・JR横浜線町田駅下車
北口POPビル前 21番バス停 55系統 野津田車庫行本町田経由
(所要時間 25分) 野津田車庫下車徒歩 10分
- ④ 小田急線・京王線多摩センター駅下車
10番バス停 32系統 鶴川行小野路・青木葉公園経由
(所要時間 17分) 小野神社前下車徒歩 18分

山崎校舎



【山崎校舎への交通案内】

(1) 小田急線・JR横浜線町田駅下車

町田バスセンター → 山崎団地入口(所要時間 15分)下車 徒歩 2分

- | | |
|------------------------|------------------|
| ① 2番バス停 町 61 | 藤の台經由野津田車庫行 |
| ② 4番バス停 町 25 | 山崎団地センター經由野津田車庫行 |
| ③ 4番バス停 町 13、町 20、町 23 | 山崎団地センター行 |
| ④ 5番バス停 町 15、町 24 | 山崎団地行 |

(2) JR横浜線古淵駅下車

1番バス停 → 山崎団地入口(所要時間 15分)下車 徒歩 1分

- | | |
|--------|--------|
| ① 古 02 | 山崎団地行 |
| ② 古 03 | 藤の台団地行 |

東京都立町田の丘学園校歌

作詞 猪野塚由美

(本校卒業生徒の姉)

作曲 真鍋 万里子

(本校旧職員)

監修 校歌制定委員会

一 今 芽を出した ぼくたち

まだ ほんの子どもだけど

いつか きっと 花が咲く

そうしたら いっしょに 歌おうよ

野津田の山に 咲きならぶ

ぼくたちの花を

二 今 芽を出した わたしたち

まだ ほんの子どもだけど

いつか きっと 強くなる

そうしたら いっしょに 歌おうよ

野津田の空に うかんでる

わたしたちの夢を